

三菱電機(株)

製品種類: エアコン

機種名: MSZ-ZW4025S-W

販売年度: 2025年



評価項目(アセスメント評価項目)

番号	取組項目	説明
1	減量化・減容化	
2	再生資源・再生部品の使用	✓
3	包装	
4	製造段階における環境負荷低減	✓
5	輸送の容易化	
6	使用段階における省エネ・省資源等	
7	長期使用の促進	
8	収集・運搬の容易化	
9	再資源化等の可能性の向上	
10	手解体・分別処理の容易化	
11	破碎・選別処理の容易化	
12	環境保全性	
13	安全性	
14	情報の提供	
15	LCA (ライフサイクルアセスメント)	

製品アセスメントの概要

循環型社会の構築としてサーキュラーエコノミーの実現があげられるが、具体的な取り組みとして廃プラスチックの有効利用がある。ルームエアコン開発でも、リサイクルプラスチックの適用拡大に取り組んでいる。これまでリサイクル樹脂は、材料物性が不安定で扱いにくかった面もあったが、異物選別技術などを活用し、リサイクル含有を増やしバージン材の使用率を減らす改善を行った。

改善の具体的内容

[] 中の数字は関連する評価項目の番号です。

1. 再生資源・再生部品の使用 [2]

使用済み家電製品より回収したプラスチックを再生し、ダストボックス・電気品ボックス・取付フレーム等に自己循環リサイクルプラスチックを採用。

【新規】

難燃リサイクル材(P S)を再開発し、リサイクル材使用率を向上(難燃リサイクル材のリサイクル材使用率80%→92%)させ、フィルター自動清掃機構の取付フレームにリサイクル材を採用。

2. 製造段階における環境負荷低減 [4]

【新規】

これまで弊社空調製品では、リサイクル材の純度が低いことに起因する材料物性の不安定さを補うために、リサイクル材にバージン材を50%混ぜた50%リサイクル材を使用し、その適用範囲拡大に勤めてきた。近年、異物選別設備の精度の向上や異物選別ノウハウの蓄積により、不純物の少ないリサイクル材が生産可能となり、バージン材を混ぜずに安定した品質を維持できる材料を実用化した。これにより、リサイクル材の製造工程でバージン材を使用する必要がなくなったため、環境負荷を低減できた。

構造等の図



リサイクルプラスチック使用部品：フィルター自動清掃機構の筐体部品



リサイクルプラスチック使用部品：フィルター自動清掃機構のダストボックス